

Google Forms を組み込んだ 英文読解の授業研究

——定期試験の誤答分析を通して——

松 井 悠 香

Abstract

This study examines the effectiveness of using Google Forms (GF) to teach reading comprehension. The research methodology consisted of comparing the percentage of correct responses on the GF with the percentage of correct responses on the test and analyzing false responses. The participants were 76 technical college students. The correct answer rate comparison results showed that the correct answer rate increased for all questions using GF. Furthermore, the results of categorizing the wrong answers showed that they could be classified as intra-linguistic errors and incomprehension of English sentences. By doing so, it was found that guidance on how to solve questions, grammar, and Japanese translation was needed.

1. はじめに

外国語を習得するには膨大な時間が必要である (Lightbown & Spada, 2021)。クラスサイズや授業時間数を踏まえると、外国語習得に必要な活動は授業内だけでは十分ではなく、授業外英語学習が不可欠である。筆者が勤務する5年間の教育課程を通して技術者養成を目的としている工業高等専門学校（以下、高専）は、理数系の授業数および専門科目の実習が多いという高専の特性上、英語の授業時間数に限りがある。さらに、通常の外国語学習においても膨大な時間が必要であるのにも関わらず、高専でそれに取り組む

となれば、限られた授業時間数で実現させなければならない。本研究の目的は、限りある授業時間の中で学生の英語力向上を目指し、高専というコンテキストにおいて、定期試験の誤答分析から Google Forms（以下、GF）を授業外課題として組み込んだ英文読解授業である「英語2」の効果を明らかにし、授業改善策の提案をすることである。

2. 研究の背景

2. 1 授業研究とはなにか

ハンクス（2020）によると、実践者研究には大きく分けて4つある。アクション・リサーチ（Action Research）、省察的実践（Reflective Practice）、探究的実践（Exploratory Practice）の3つと、その他に分類される。教師研究（Teacher Research）、教室研究（Classroom Research）、ナラティブ・インクワイアリー（Narrative Inquiry）、レッスン・スタディ（Lesson Study）がその他に含まれる。ここでいうレッスン・スタディが授業研究である。

授業研究（Lesson Study）では教師が自律的かつ同僚と協働的に授業を検討するスタイルがとられている。図1は授業研究のプロセスを示す。教員が目標を設定し、それを達成するために計画を立てる。その計画に基づき研究を実施し、リフレクションを行う。そうすることで次の授業研究につなげていくという流れである。授業研究を行うことで教育に関する広いビジョンを同僚と共有することができ、学生の学び、授業や単元計画のデザインに関するリフレクションを行い、次の研究課題を発見することができる、といったプロセスを辿るのが一般的だとされている（吉田、2020）。授業研究が教員の成長、授業内容の充実において重要であるかが明らかになった。

2020年に始まった新型コロナウイルス感染拡大により、教員と学生の両方が教育機関での ICT（Information and Communication Technology）の利用を余儀なくされた。本校においても例外ではなく、授業での ICT 活

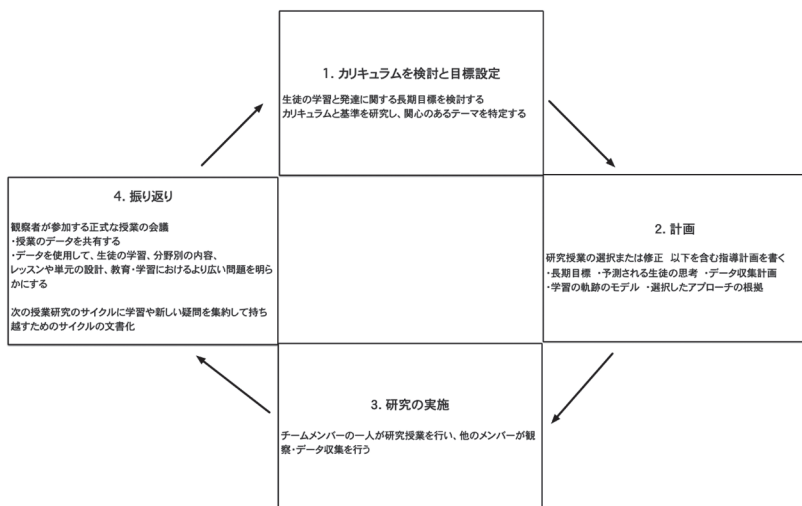


図1 授業研究 (Lesson Study) のプロセス
(Lewis, Perry & Murata, 2006 : 4 を参考に作成)

用や業務の DX (Digital Transformation) 化が推進されている。筆者は業務 DX 化の一環として授業研究を ICT で行うようになった。例えば、授業内での気づきを Google ドキュメントへ入力している。そうすることで、パソコン、タブレット、スマートフォンのすべての端末から時間と場所を選ばずアクセスし、内容の確認、追加・修正ができる。

2. 2 ICT を使った授業研究

国内における ICT を活用した授業研究はいくつかあるが、ここでは調査対象を高校生以上とした特筆すべき2つの授業研究例を取り上げる。山下 (2014) は中学2年生・高校2年生を対象に、音読活動において ICT 教材を活用した実践を行った。ICT 教材はプレゼンテーションソフトで作成され、アニメーション機能や音声編集機能を活用したスライドが提示された。さら

にそれを大型テレビに投影し、生徒はスライドを見ながら一斉に音読するという学習形態がとられた。その結果、生徒の学習意欲を高めるとともに、文字と音声の一体化や表現の定着を促す活動として効果的であることが明らかになった。さらに、小林（2021）は日本人大学生17名とオーストラリア人高校生13名を対象に ICT を活用し、学習者の英語でのコミュニケーションに対する苦手意識を解消することを目的とした e-collaborative プロジェクトの効果について検討した。ビデオ会議技術と、学習者個人がビデオ会議体験を振り返り共有するためのオンラインビデオディスカッションプラットフォームを用いて、2つの英語学習プログラムが実施された。その結果、e-collaborative プロジェクトは、話すことへの不安の軽減とモチベーションの向上に影響を与えた可能性が示唆された。音読やスピーキングでの ICT を活用した授業例から ICT の有用性は示唆されてはいる。しかし、英文読解という分野で、なおかつ読解内容の理解を促すために GF を使用するような研究はあまり見受けられない。その理由として、まず、GF はアンケート調査のためのオンライン・ツールとして使われることが圧倒的に多く、英文読解を促す手段として利用された事例は筆者の知る限りない。実際、GF の公式サイトでも、あらゆる端末でアンケートとオンラインフォームを作成できる手軽さ、自動集計の便利さが説明されている。英文読解において GF を組み込んだ授業研究は未開拓の分野であると言えるだろう。

2. 3 高専の英語

英語論文を読む・書く、海外の学会で発表する等、技術者は英語を使う機会が多い。そこで、学生が技術者になることを想定して、授業では英語のインプットだけではなく、英会話、発表・プレゼンテーションをする機会も設けている（大阪公立大学工業高等専門学校一般科目系、2022）。しかし、学年が上がると授業の中心がアウトプット活動になることに備え、1年次生の英文読解の授業はリーディングを主とした総合基礎演習として位置づけている。

英語の授業は次のように展開する。「英語 1 ～ 6」（1 年次～ 4 年次対象の英文読解、一般科目）「英語表現 1 ～ 3」（1 年次～ 3 年次対象の文法、作文、会話表現、一般科目）、「英語 A ・英語 B」（4 年次対象の外国語選択科目）、「技術英語」（5 年次対象の専門科目、専門科目）。1 年次生、2 年次生は一般科目を週に 6 時間、3 年次生は一般科目を週に 4 時間、4 年次生は一般科目を 2 時間、選択科目を 2 時間、5 年次生は専門科目を週 2 時間実施している。図 2 は学年ごとにおける 1 週間あたりの授業時間数の推移をまとめたものである。

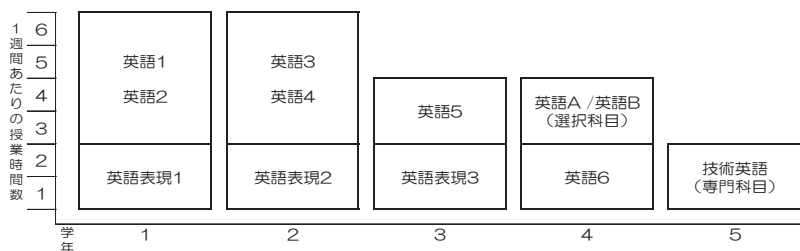


図 2 学年ごとの 1 週間あたりの授業時間数

2. 4 研究課題

これらの研究背景をもとに次の研究課題を設定した。

RQ : Google Forms を使った読解の授業は効果的か。

3. 方法

3. 1 Google Forms を使った英文読解の授業手順

1 年生を対象にした「英語 2」の授業では検定教科書の英文読解を中心とした講義内容となっている。検定教科書は *LANDMARK English Communication I* (啓林館) を使用している。

本校1年生は2022年10月より BYOD (Bring Your Own Device) を開始し、学生は授業内外でパソコン使用が必須となった。その状況を鑑み、「英語2」でも GF を使用し、既習の英文内容に関する英問英答を課題とした。課題は短文回答形式を使用したため、学生は英語で回答を入力する必要があった。学生に課された問題例は表1のとおりである。なお、GF は Google Classroom 上で学生に向けて配信された。

表1 学生に課した問題例 (Lesson 6、Part 1 より)

問題番号	問題
1	How do we convey our feelings to others? Give one example.
2	What is non-verbal communication?
3	What percentage of our communication is carried out by non-verbal communication?
4	What can be considered non-verbal communication? Give one example.
5	What kind of body positioning can show a lack of confidence?

授業時間は90分で前半45分が前時の復習を、後半45分で本時の学習を実施した(図3)。まず、既習英文の穴埋め小テストを実施するため、10分の準備時間が与えられ、本番と同様に英文音声を聞くことができた。次に GF の英問内容と英答の内容共有を学生はペアになって行う。その後、GF のスコア開示を経て、教員による解説を聞く。ここまでが前半45分である。次に新しい章へと進むため、英文概要説明を聞いたあと、プリント教材(付録1)を使用し学生は英文を読み、T/F (True or False) 問題を解く。そして、英文解説を聞くことで、T/F 問題の答え合わせおよび英文内容、構造が明

確になるという手順を踏む。なお、英文の英問英答は次回までの課題とした。

3. 2 試験問題の構成

2022年12月に実施した後期中間試験の結果を使って分析をおこなった。本試験は教科書のLesson 5～7を試験範囲とし、英文読解に関する総合問題を出題した。問題構成は表2のとおりである。大問は合計8問あり、既習の英文を扱ったが、問題形式については配布プリントおよびサブノートで取り組んだものと同じ形式で出題したものと新しい形式で出題したものが混在した構成とした（付録2）。

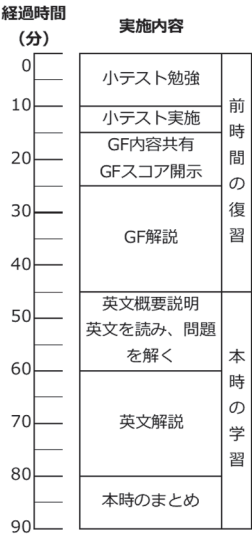


図3 「英語2」の授業実施内容

表2 試験の問題形式

大問	問題形式
1	語彙：英単語の定義を記号で選ぶ 例：(1) accompany (ア) to go with someone
2	イディオム：日本語に合うように空所に適語を入れる 例：(1) He () () the business to his son. 彼は商売を息子に引き継いだ。
3	英文読解：空所補充（英語、記号）、並べ替え、指示語の説明、内容一致
4	英文読解：動詞の語形変化、空所補充（記号）
5	英文読解：日本語が与えられた要約文の空所補充（英語）
6	英文読解：和訳、並べ替え、英問英答
7	英文読解：英文内容をまとめた表の空所補充（日本語）
8	英文読解：1文補充（記号）、空所補充（記号）、英問英答

3. 3 参加者

対象者には研究の趣旨を説明した上で研究参加への同意を得た。1 年次生 76 名（A 組 38 名、B 組 38 名）の答案を対象とした。筆者が授業を通して感じた印象ではあるが、理数系科目を得意とする学生が大半で、技術者として将来英語を使う機会が多いと予想されるが、英語、国語といったいわゆる文系科目に苦手意識を持つ学生が数多く見受けられる。

3. 4 誤答分析

誤答分析は「学習者の実際の誤りを分析するという問題解決的アプローチをとり、誤りの原因、対策を図ろうとする診断的過程を重視」（垣田、1983、p.20）するもので、本研究では垣田（1983）の誤答分析手順に則って調査を行う。手順はまず誤答収集、次に誤答分類・説明そして原因別の分類へと進めた。原因別分析は（1）母語干渉による誤り、（2）母語干渉以外の誤りとした。（2）の誤りとしては言語内の誤り、発達上の誤り、誘発された誤り、伝達方略の誤り、学習方略による誤りがあるが、本研究における収集データは試験の答案であるため（2）は言語内の誤りのみに限定される。

4. 結果と考察

4. 1 クラス別得点の記述統計

クラス別得点の記述統計より、A 組の平均点が B 組を上回ってはいるが、2 つのクラス間に大きな差は見られなかった（表 3）。

表 3 クラス別得点の記述統計

	<i>M</i>	<i>SD</i>	Max.	Min.
A 組	59. 23	16. 39	97	27
B 組	56. 39	18. 08	90	19

なお、クラス別得点ごとの人数分布についても大きな差はない（図4）。

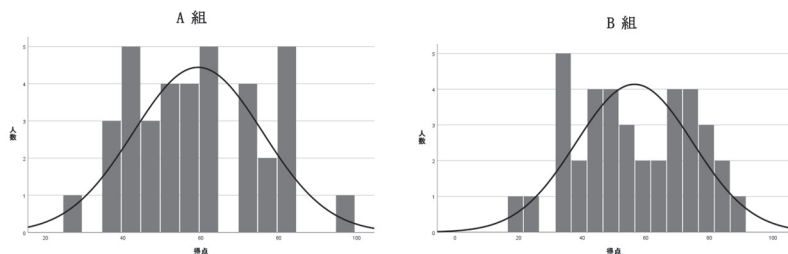


図4 クラス別得点ごとの人数分布

さらに、A組とB組の平均点の差が統計的に有意かを確かめるために、有意水準5%で両側検定の t 検定を行ったところ、 $t(74)=0.59$ 、 $p=.56$ であり、A組とB組の平均点の差に有意差は見られなかった。

4. 2 結果と考察

4. 2. 1 GFで既習済み問題の内容

対象の問題は大問6（3）④～⑥、大問8（3）の計4問である。対象問題の選定理由はGFで課題とした問題形式と全く同じものを試験問題に組み込んだためである。問題形式は英文内容を踏まえた英問英答である。

4. 2. 2 GFで既習済み問題の正答率

問題ごとのGF実施時と試験時の正答率を表4に示す。なお、GFと試験の正答率に対し t 検定を試みたが、サンプルサイズが小さいため実施できなかった。そのため、GFと試験実施時の正答率の比較を行った。

学生にとって初めて取り組む問題であったため、GF実施時の正答率は最も高いもので59.5%、最も低いもので21.6%であった。前述の通り、GFで

取り組んだ問題と全く同じ形式の問題を試験で出題したため、正答率が最も高いもので76%、最も低いもので38.5%と向上傾向にあることがわかった。しかし、大問8（3）はA組の正答率が34%から64.1%と2倍近く向上したが、B組では36%から38.5%と2.5%しか向上していないといったクラスによる差が見られた（表4）。

表4 GF と試験実施時のクラス別正答率

問題番号	GF の正答率 (%)		試験の正答率 (%)	
	A組	B組	A組	B組
6（3）④	54	59.5	55	62
6（3）⑤	27	43.2	63	56
6（3）⑥	24.3	21.6	76	59
8（3）	34	36	64.1	38.5

4. 2. 3 GF で既習済み問題の誤答分析

次に3. 5の手順で試験答案結果を用いて誤答分析を行った。

4. 2. 3. 1 大問6（3）④

問題文と解答例は次のとおりである。

What did Bana do in addition to sending messages on the Internet?

- She (also) sent letters to the leaders of some countries.

表5 大問6（3）④の誤答分析

誤りの分類（％）	誤答例
[1] 言語内の誤り (5.3%)	<ul style="list-style-type: none"> • She <u>send</u> messages for peace. • She <u>sending</u> messages for peace. • She <u>sended</u> messages for peace.
[2] 解答内容が 不十分 (23.7%)	<ul style="list-style-type: none"> • She wrote in the letters that everyone in the world should live in peace. • She sent messages for peace. • She is sending messages for peace. • She was sending messages for peace. • She sent messages on her Smartphone. • She did not stop sending messages for peace.

誤りの分類と誤答例を表5に示す。なお、誤りの分類はすべて（2）母語干渉以外の誤りに属するものとする（3.5参照）。表5は誤りの分類と答案用紙に書かれた誤答例を示している。誤りの分類の行にある括弧の数字は誤答解答者数の割合を表す。誤りは2種類に分類できた。[1] 言語内の誤りは文法上の誤りがあるものである。内容は理解できているが、下線の時制理解をできていないことがわかる。[2] 解答内容が不十分は解答例に近いものは書けているが、「他の国の指導者に手紙を送った」旨が書かれていないため誤答とした。[1] の解答が非文である気づきを得るための文構造理解の促進、[2] は英文内から解答箇所を見つけ出す練習が改善策として考えられる。

4. 2. 3. 2 大問6（3）⑤

問題文と解答例は次のとおりである。

Could messages for peace alone end the war?

- No, they couldn't.

表6 大問6（3）⑤の誤答分析

誤りの分類（％）	誤答例
〔1〕 言語内の誤り (34.2%)	<ul style="list-style-type: none"> ・ No, <u>it</u> couldn't. ・ No, <u>it</u> could not. ・ No, <u>its</u> couldn't. ・ No, <u>it's</u> not. ・ No, they <u>not</u>. ・ No, <u>that</u> couldn't. ・ No, they couldn't. ・ No, they <u>can't</u>. ・ No, <u>these</u> couldn't.
〔2〕 英文の不理解 (2.6%)	<ul style="list-style-type: none"> ・ Yes, it could. ・ Yes, it is.

誤りの分類と誤答例を表6に示す。なお、誤りの分類はすべて（2）母語干渉以外の誤りに属するものとする（3.5参照）。表6は誤りの分類と答案用紙に書かれた誤答例を示している。誤りの分類の行にある括弧の数字は誤答解答者数の割合を表す。問題文の *messages for peace* を *they* に書き換えるのがポイントである。〔1〕言語内の誤りとして、*they* と書けていないもの、*couldn't* (*could not*) とされていないものを分類した。換言すると、学生は問題文の主語の単数・複数の区別があいまいであり、助動詞の疑問文の答え方が理解できていないことがわかる。さらに、No と答えるべきものに Yes と答えたものを〔2〕英文の不理解とした。〔1〕に対して代名詞の使い方、Y/N 疑問文に対する解答法の練習が必要である。〔2〕は質問文の和訳による意味の理解と、英文から解答に該当する箇所を探し、英文理解を促すことが改善策として挙げられる。

4. 2. 3. 3 大問6（3）⑥

問題文と解答例は次のとおりである。

How did Bana and her mother feel when they were reading the messages from people?

- They felt people cared about them, they weren't alone.

表7 大問6（3）⑥の誤答分析

誤りの分類（％）	誤答例
[1] 言語内の誤り (21.0%)	<ul style="list-style-type: none"> ・ They felt people cared about <u>us</u>, they weren't alone. ・ They felt people cared about <u>us</u>, <u>we</u> weren't alone. ・ They felt people cared about them, <u>we</u> weren't alone.
[2] 英文の不理解 (3.9%)	<ul style="list-style-type: none"> ・ She hid in the basement for hours and hours, her mother and she would read the messages. ・ She was not only active on the Internet, but she also sent letters to the leaders of some countries. ・ People think all wars everywhere will soon come to an end. ・ People said "Thank you."
[3] 不完全な解答 (1.3%)	<ul style="list-style-type: none"> ・ They felt people cared about them.

誤りの分類と誤答例を表7に示す。なお、誤りの分類はすべて（2）母語干渉以外の誤りに属するものとする（3.5参照）。表7は誤りの分類と答案用紙に書かれた誤答例を示している。誤りの分類の行にある括弧の数字は誤答解答者数の割合を表す。本問題は英文では… people cared about us, we weren't alone. と記載されているものを問題文に沿って us を them に we を they に変化させなければいけない。それができていない解答を[1]言語内の誤りとした。解答例の英文箇所からかけ離れた解答をしているので

〔2〕を英文の不理解に分類した。〔3〕は英文の該当箇所は解っているものの、解答が不完全であるため③不完全な解答とした。〔1〕に対しては問題文に沿った解答法の練習を要し、〔2〕は問題文と英文の和訳を〔3〕には英文から解答の該当箇所を見つける練習が不可欠であろう。

4. 2. 3. 4 大問8 (3)

問題文と解答例は次のとおりである。

What kind of tool can non-verbal communication be?

- It can be an effective communication tool.

表8 大問8 (3) の誤答分析

誤りの分類 (%)	誤答例
〔1〕 言語内の誤り (5.2%)	<ul style="list-style-type: none"> ・ Fan is. ・ Folding fan is. ・ Facial expressions and eye contact is.
〔2〕 問題文・英文 の不理解 (35.3%)	<ul style="list-style-type: none"> ・ For example, using gestures. ・ Gestures can be. ・ Gestures. ・ It's hands. ・ For example, hand, eyes, and mouth. ・ To use facial expressions. ・ They keep eye contact. ・ For example, keep eye contact with the audience when I am speaking. ・ For example, presentation, <i>rakugo</i> can be. ・ It can be <i>rakugo</i> shows. ・ It can cause misunderstanding because the meaning differ from place to place. ・ Non-verbal communication is unconscious. ・ It is able to (It can) convey your thoughts and feelings more effectively to many people.

誤りの分類と誤答例を表8に示す。なお、誤りの分類はすべて(2)母語干渉以外の誤りに属するものとする(3, 5参照)。表8は誤りの分類と答案用紙に書かれた誤答例を示している。誤りの分類の行にある括弧の数字は誤答解答者数の割合を表す。GFで既習済みの問題内で最多の誤答であった。その殆どが[2]問題文・英文の不理解に分類できる。[2]の中で非文のものが[1]言語内の誤りとなった。なお、誤答を導いた一因として問題文(What kind of tool can non-verbal communication be?)における文構造の複雑さが挙げられよう。困難さとして無生物主語の把握とbe動詞の意味理解が挙げられる。問題文の文構造の把握、問題文の和訳、英文から解答の該当箇所を見つける練習が[1]、[2]に対する改善策である。

4. 3 考察

4. 1と4. 2の結果を踏まえてRQ(Google Formsを使った読解の授業は効果的か)に回答する。GF使用時と試験時の正答率を比較すると、問題ごとに向上率に差はあるものの、すべてにおいて正答率は上がった。すなわち、効果はあったと言えるだろう。GFを組み込んだ授業を実施して筆者が体感した効果は次の5点であった。

1. 授業内で実施した英文を授業外においてもGFを解くことで繰り返し読むことができる。
2. 授業外で実施したGFの答え合わせ・解説を次回の授業内で行うことで、学生は解答の誤りに気づき、解説を聞くことで解法も理解できる。
3. GFを使用して問題を作成したことで、学生が繰り返し問題を解くことができる。
4. GFで解答することで、学生は英文におけるPC入力の基本事項(例：文頭は大文字、半角スペースを挿入する、文末にはピリオドを入力するなど)を習得することができる。
5. GFで問題を作成したことにより、教員は手元のICT機器で学生個

人の回答を検証し、誤りの多い問題を炙りだすことができる。
しかし、誤答分析結果を加味すると手放しに効果があったとはいえない。
誤答分析の結果をもとに作成したものが図5である。

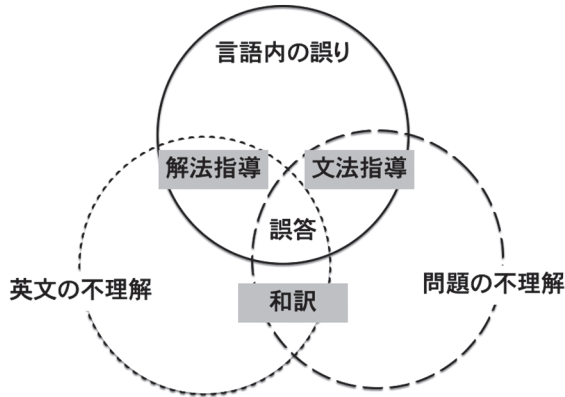


図5 誤答の分類と共通する改善策

GF で既習済みの問題に関する誤りは大きく3つに分類できる。文法的な誤り等を指す言語内の誤り、英文の不理解、問題の不理解である。分析をする中で誤答ごとに共通する指導上のポイントを見出した。言語内の誤りと英文の不理解に対しては解法指導、すなわち英文内容と問題文の形式に沿った答え方ができるように教える必要がある。また、言語内の誤りと問題の不理解に関しては文構造の把握を含めた文法指導が有効であろう。さらに英文の不理解と問題の不理解については必要箇所を和訳することで意味の把握が容易になる。誤り分類のみに着目するとそれぞれ関連がないようだが、指導法という共通項を明らかにすることで授業内の活動と試験内容をリンクさせる重要性が再認識できた。

5. 研究の限界と示唆

本研究では正答率比較と誤答分析を通して、Google Forms を組み込んだ英文読解の授業は効果があったと結論付けた。正答率比較においてはすべての問題において GF 実施時より試験実施時のほうがわずかではあるが上回った。効果があったことを確認した上で誤りを検証し、授業改善につなげるために、垣田（1983）の誤答分析手順に則って調査をした。しかし質的データを扱う特性上、誤りの分類法に関して筆者の主観による影響は避けられなかった。ゆえに分類における信頼性と妥当性は高いとは言えない。

今回の研究では、現役の教員である筆者が行った誤答分析により試験の採点や正答率といった量的なデータだけでは見えてこなかった具体的な改善策を見出すことができた。教員が教師の視点だけではなく、研究者の視点も持ち合わせて授業研究に励むことは教員の成長にとどまらず授業内容のさらなる充実をもたらすものと考ええる。

参考文献

- ジュディス・ハンクス. (2020). 「言語教育における実践者研究の再考」『英語授業学の最前線』1-11.
- 大阪公立大学工業高等専門学校一般科目系. (2020). 英語.
<https://www.ct.omu.ac.jp/liberal-arts/lecture/english/>
- 垣田直己. (1983). 誤答分析の方法. 『英語の誤答分析』20-42.
- 啓林館. (2021). *LANDMARK English Communication I*, 78-122.
- Lewis, C., Perry, R., Murata A. (2006). How should research contribute to instructional impression? The case of Lesson Study. *Educational Researcher* 35 (3), 3-14.
- Lightbown, P. M., & Spada, N. (2021). *How Languages Are Learned* (fifth edition). Oxford University Press.
- 小林 翔. (2021). 「英語でのスピーキングに対する抵抗感の変化ー ICT を活用した協働型国際交流に焦点をあててー」『全国英語教育学会紀要』32, 161-176.
- 山下泰世. (2014). 『タスク型リーディング授業』による中・高等学校英語科の授業

づくりー理解から表現へつなげる指導の工夫と音読用 ICT 教材の活用教材の活用」『滋賀県総合教育センター』1-12.

吉田達弘, (2020), 『「二人称的アプローチ」による英語授業研究の試み』『英語授業学の最前線』49-51.

付録

●付録1 配布プリント例

T/F の解答根拠になる英文番号を書く

22年 第2回 検定試験

1年 組 番 氏名

LEPS 【ふりがな】 C, M, X → 読解 () → 文法 () → 内容 ()

◆英文 (1) 読解はマフットで読む。

1) 1 There was a dog that worked in Kanagawa Children's Medical Center. 2 Do you know why he was there?

2) 3 Surprisingly, this dog, Bailey, was a medical staff member at the hospital.

4 He visited children in the hospital and sat close to them in order to help them relax.

5 He also accompanied them to the operating room, showed them how to take medicine, helped calm them when a nurse took a blood sample, and joined them in walking training and exercise therapy.

3) 6 During working hours, Morita Yuko was always at his side. 7 She was a handler whose work was to supervise and take care of him.

4) 8 Bailey had worked full-time at this hospital since 2012. 9 Such a dog is called a "facility dog." 10 Bailey was the first facility dog to work at a hospital in Japan.

◆T/F (1) 設問の箇所を詳しく番号に書きましょう。

設問	答え
1. There was a dog working in Kanagawa Children's Medical Center.	
2. Bailey visited the doctors in the hospital in order to help them relax before surgeries.	
3. Bailey joined the children in walking training and exercise therapy.	
4. His handler, Morita Yuko, was always at Bailey's side during working hours.	
5. Bailey was the first facility dog to work at a hospital in the world.	

◆Questions (1) 設問 (国語) 月 日 曜日 フォームで答えましょう。

1. What kind of animal worked in Kanagawa Children's Medical Center? (番号) ()

2. What did Bailey do at the hospital? Give an example. (番号) ()

3. What did Morita Yuko do at the hospital? (番号) ()

4. When did Bailey start working at Kanagawa Children's Medical Center? (番号) ()

5. How long has Bailey worked full-time at a hospital like Bailey? (番号) ()

疑問があれば質問受付用 GF に入力可能

授業中、必要に応じてメモを取る

・英文ごとに番号を記載

GF と同様の問題を掲載

・解説時に解答例を書く

・番号：には解答根拠になる英文番号を書く

・GF で間違った問題にマーク

●付録2 後期中間試験問題

① 単語の説明として最も適切なものをそれぞれ選び、記号で答えなさい。【4】

- (1) accompany (2) lean (3) encourage (4) fulfill
 (ア) to go with someone
 (イ) to help someone to feel confident and able to do something
 (ウ) to do something that is expected, hoped for, or promised
 (エ) to slope in one direction

② 日本語に合うように、それぞれの()に英語1語を入れ英文を完成させなさい。【8】

- (1) He () () the business to his son. 彼は商売を息子に引き継いだ。
 (2) She decided to () () the contest. 彼女はそのコンテストに参加することに決めた。
 (3) He tried to () () to the lecture. 彼はその講義に注意を払おうとした。
 (4) They are suffering from a () () food. 彼らは食糧不足に苦しんでいる。

③ 次の英文を読んで、あとの問いに答えなさい。【12】

(①) did Bailey become a facility dog at a hospital? As a first step, he received various types of training with his handler, Yuko. For example, they learned how to act around people with brain disorders. They also ②[prevent / to / learned / infections / how]. The hygiene problems that dogs could cause for hospital patients was a concern in the beginning. However, appropriate management and proper vaccinations helped ease ③this concern and allowed them to focus on their work.

For the second step, Bailey worked on a trial basis at Shizuoka Children's Hospital. After this trial period, he started his full-time work at this hospital. At that time, there were some doubts about his usefulness. However, (④), he easily did things that humans could not do. For example, he helped a boy who had repeated surgery for a brain tumor and ⑤() () () again. Another boy who could not talk or move his body was able to open his eyes for Bailey.

- (1) 空所①に適切な語を補いなさい。
 (2) 下線部②の[]内の語句を意味が通るように並べかえなさい。
 (3) 下線部③this concernの具体的な内容を日本語にしないさい。
 (4) 空所④に入る語句を選び、記号で答えなさい。
 (ア) for this reason (イ) believe it or not (ウ) in favor of (エ) no longer
 (5) 下線部⑤「彼を再び微笑ませました。」という意味になるように()に適切な語を補いなさい。
 (6) 本文の内容と一致するものをすべて選び記号で答えなさい。
 (ア) Bailey and Yuko learned how to act around people with brain disorders as a part of their training.
 (イ) Bailey had worked at a hospital in Kanagawa before he became a facility dog.
 (ウ) Even appropriate management and proper vaccinations did not help in lowering the concerns about the hygiene problems.
 (エ) Bailey was able to do things that humans could not do.

④ 次の英文を読んで、あとの問いに答えなさい。【14】

Research provides some interesting evidence to ①support the positive effects of facility dogs. In an experiment conducted in Hungary, dogs managed to read human emotions in the same way as humans do. Another study in Japan also found a surprising fact. When a dog and its owner looked intently at each other, a hormone ②call oxytocin was produced in the owner's body. This is the substance that ③help reduce pain and anxiety. This may ④be one of the reasons why patients feel relieved when they look into dogs' eyes.

There is a story that shows how Bailey helped children. Many children who had operations wanted Bailey to go to the operating room with them. They were scared of the surgery, but with Bailey, they felt ⑤calm and relaxed. This mental state was important for children ⑥receive a particular treatment because it reduced the amount of medication they needed. Bailey not only made children feel relaxed, but also [A].

- (1) 下線部①～⑥の語を意味が通るように形を変えなさい。ただし、形を変えなくてもよいものもある。
- (2) 空所[A]に入るものを1つ選び、記号で答えなさい。
- (ア) helped them study about their disease
 - (イ) revealed the secret of a happy hormone
 - (ウ) enhanced the effects of their treatment
 - (エ) told doctors and nurses what the children are thinking

⑤ 日本語の意味になるように、英文の()にそれぞれ適当な語を補いなさい。【14】

Bana Alabed, who lived in Aleppo, Syria, sent a message to the world on her smartphone. In Aleppo, a (1) war has continued since 2012. The war deprived her (2) everything. The world was shocked at Bana's real-time messages from a fierce battle zone. After the messages were shared (3) people around the world, many of them sent her messages of (4). Bana's messages made many people (5) the preciousness of peace again. This reveals that social (6) on the Internet may help (7) global problems. Bana hopes that not only the war in Syria, but all wars everywhere will soon come to an end.

シリアのアレppoに住むバナ・アラバドさんは、スマートフォンで世界にメッセージを送りました。アレppoでは、2012 年から内戦が続いています。戦争によって、彼女はすべてを奪われました。激戦地からのバナさんのリアルタイムのメッセージに、世界は衝撃を受けました。そのメッセージは世界中の人々に共有され、多くの人々がバナさんに励ましのメッセージを送りました。バナさんのメッセージは、多くの人に平和の大切さを再認識させました。これは、インターネット上の社会的な交流が、地球規模の問題の解決につながる可能性があることを明らかにしています。バナさんは、シリアだけでなく、すべての戦争が一日も早く終わることを願っています。

⑥ 次の英文を読んで、あとの問いに答えなさい。【17】

Because of the great influence of her messages, ①the Syrian government regarded her as a dangerous person. To protect her, Bana's family was evacuated to the neighboring country, Turkey, in 2016.

Even after leaving Syria, she did not stop sending messages for peace. She was not only active on the Internet, but she also sent letters to the leaders of some countries. She wrote in the letters that everyone in the world should live in peace.

Unfortunately, because of the complexity of the situation, ②messages for peace alone could not end the war. So, did Bana's words mean nothing? Were the messages of encouragement to her meaningless? Bana had this to say: "As I hid in the basement for hours and hours, mom and I would read the messages. Reading them, we felt people cared about us, and we weren't alone. When I was taking photos and videos on the street, people said, 'Thank you, Bana.' People liked ③[the whole world / to / me / forget / telling / not] Aleppo because they all thought they had been forgotten by the world."

(1) 下線部①②を日本語にしなさい。

(2) 下線部③の[]内の語句を意味が通るように並べかえなさい。

(3) 以下の質問④～⑥に英語で答えなさい。

④ What did Bana do in addition to sending messages on the Internet?

⑤ Could messages for peace alone end the war?

⑥ How did Bana and her mother feel when they were reading the messages from people?

⑦ 場所によって意味が異なる非言語コミュニケーションについてまとめた表内の()を補いなさい。【16】

Non-verbal communication can differ in meaning from place to place. That is why the gestures of people from other countries are easy to misunderstand. For example, shaking one's head means "no" in Britain as well as in Japan, but it can show the opposite meaning in Bulgaria. If you hold your palms open when you talk, most Americans think you are open-minded and honest. On the other hand, the same action can give Greek people a negative impression because it is considered an insult.

Even universal body language, such as smiling and eye contact, can differ in meaning from country to country. Smiling usually expresses happiness or friendliness. However, in Japan, for example, it can be a sign of discomfort or embarrassment. In the US, people look directly at each other when they speak. It shows interest and honesty. Similarly, people in Lebanon stand close together and look into each other's eyes. It also shows honesty and helps the listener understand the speaker's feelings. However, people in South Korea avoid making long eye contact with their elders. It is more polite to look away from them often during a conversation.

身振り・身体言語	その行為が表す意味	国
首を横に振る	はい	(1)
	いいえ	日本、イギリス
話すとき(2)を上に向ける	心が広くて誠実である	アメリカ
	(3)と考えられ、悪印象である	(4)
(5)	当惑・恥ずかしさ	日本
会話中に、相手を直視する	関心・誠実さ	アメリカ
	誠実さ、聞き手が相手を理解するのに役立つ	(6)
	たびたび(7)から視線をそらすことが(8)	韓国

8 次の英文を読んで、あとの問いに答えなさい。【15】

You now know about differences in non-verbal communication. Let us consider how you can use non-verbal communication effectively. [I]

Some people use non-verbal communication consciously. In *rakugo* shows, for example, storytellers entertain their audience (①) telling stories using gestures and facial expressions. When they perform a character eating soba, they lift their folding fan up (②) their mouth and make a loud slurping sound. [II]

Many good speakers use non-verbal communication (③) presentations. For example, they keep eye contact (④) the audience while they are speaking. They move their eyes from person to person, or group to group. By doing so, the listeners may pay more attention to what the speaker is saying.

In many cases, non-verbal communication is unconscious. It can cause misunderstandings because the meanings differ from place to place. [III] On the other hand, it can be an effective communication tool. If you are aware (⑤) the importance of non-verbal communication and can use it well, you will be able to convey your thoughts and feelings more effectively to many people.

- (1) 以下の文は、英文中の [I] ~ [III] のどこに入れるのが適当か。最も適当と思われる箇所の数字を書きなさい。

Such gestures help the audience understand the size, amount, or shape of an object, or the actions of characters.

- (2) () ①~⑤に当てはまる語をそれぞれ語群より選びなさい。

with	of	by	in	to
------	----	----	----	----

- (3) 次の質問に英語で答えなさい。

What kind of tool can non-verbal communication be?

以上